黒沢　幸子*: **アオキの細胞分類学的検討** (追記)

Sachiko KUROSAWA*: Additional notes on cytotaxonomy of *Aucuba japonica*

アオキ属の細胞分類学的性質については本誌 **46**: 231-238 (1971) に報告したが，その後日本の各地から集めたアオキの染色体数について調べた結果，色々新事実が分ってきたので，ここにその結果の一部を報告する。

アオキのように普通に栽植されているものでは，それが真の自生か，栽植されたものか，或は栽植品から逃げ出したものかは判定が困難な場合が多い。多分自生と考えられるものについて明らかになった結果を Table 1 に示した。この表からすぐ分るように，2 倍体のアオキは西南日本に広く分布していることが確実で，九州全土から四国南部，中国地方西部にまでひろがっている。一方 4 倍体のアオキは西は中国地方の中部から東方に分布していて，国外で栽植されているものは，この形である。こうなると学名の問題ももう一度考え直して見る必要がある。*Aucuba japonica* Thunb. の原記載は確かに栽植されていたアオキをふくんでいるので，一番普通に栽培されている 4 倍体のアオキを基準形と考えて学名の混乱をさけたい。一方九州産のアオキはほとんど 2 倍体であることが分ったので，熊本県から特異な果実の形によって記載されたヒゴアオキ var. *ovoidea* Koidzumi も多分 2 倍体の一形と推定される。したがって西南日本に産する 2 倍体のアオキを区別して呼ぶ場合には，この名を用いるのが適当であろう。また沖縄産に基いて発表したナンゴクアオキ var. *australis* Hara et Kurosawa も 2 倍体であるが，栽培して見るとヒゴアオキとはかなり異る形態を示している。これらの問題をふくめ未解決の事柄については，更に多くの資料を集め比較栽培した上で報告する。

今日まで資料の採集について何かと御援助下さった原　寛，金井弘夫，大橋広好諸博士，立石庸一氏，奥山春季，富樫誠，馬場胤義，外山三郎，大内準，阿部近一，武井三郎，西原礼之助，岡国夫の諸氏に厚く御礼申し上げます。

*　*　*　*

Since I published a paper on cytotaxonomical studies on the genus *Aucuba* in this journal **46**: 231-238 (1971), I have collected many materials

---

* 東京大学理学部植物学教室. Department of Botany, Faculty of Science, University of Tokyo, Hongo, Tokyo

Table 1. Chromosome numbers

	Number (2n)	Origin
Aucuba japonica var. *japonica*	32	Cultivated in London
	32	Cultivated in Paris
	32	Isejingû Naigû, Mie Pref.
	32	Doba, Kitayama, Wakayama Pref.
	32	Nachi, Wakayama Pref.
	32	Shoshazan, Himeji, Hyôgo Pref.
	32	Ikura, Niimi, Okayama Pref.
	32	Suijin-daki, Kawashima-machi, Tokushima Pref.
	32	Amagodaki, Kamiyama-machi, Tokushima Pref.
var. *ovoidea*	16	Hayamakyô, Nariwa-machi, Okayama Pref.
	16	Masuda, Shimane Pref.
	16	Tokusagami, Atô-machi, Yamaguchi Pref.
	16	Mt. Yokogura, Kôchi Pref.
	16	I. Okinoshima, Sukumo, Kôchi Pref.
	16	Kawara-machi, Fukuoka Pref.
	16	Tachibana-yama, Fukuoka Pref.
	16	Mt. Hikosan, Fukuoka Pref.
	16	Mt. Kurokami, Saga Pref.
	16	Nagasaki, Nagasaki Pref.
	16	Mt. Aso, Kumamoto Pref.
	16	Kônose, Kuma, Kumamoto Pref.
	16	Boroishi-yama, Miyazaki Pref.
	16	Mt. Takakuma, Kagoshima Pref.

of *Aucuba japonica* from various wild habitats in Japan. The chromosome numbers examined during my recent studies are summarized in Table 1.

Now it became clear that the diploid race of *Aucuba japonica* is distributed widely in the south-western part of Japan, and var. *ovoidea* Koidzumi is probably a form of this diploid race. Tetraploid var. *japonica* seems to meet diploid var. *ovoidea* in the Chûgoku—Shikoku region of Japan.